

## IBM Rational Insight

### ハイライト

- **リアルタイムでのデータの収集/測定/分析を自動化してエラーを減少させ、情報に基づく意思決定を容易に**
- **各役割に合わせた測定基準を作成し、すぐに使用できる関連データをタイミングよく提供**
- **プロジェクト、製品、地理的な状況など、さまざまなデータをグラフや図形として表現し、ひとつの画面での状況と進捗のモニターを可能に**
- **プロセスの成果の評価、測定、改善をサポートするために、数々のベスト・プラクティスを元に作成されたフレームワークを提供**

### 適切な情報を適切なタイミングで提供する

経済情勢の変化が続く中、企業各社はこれまでよりも少ないリソースとさらに厳しい予算という制約の下で、お客様のニーズを満たしながら競争上の優位性を維持する方法を見つけなければなりません。そのためには、マネージャーが適切なタイミングで適切な意思決定を行う必要があります。ところが、多くのマネージャーは、プロジェクト情報の処理上の質、量、一貫性に苦戦し、その結果、プロジェクトとプロセスを十分に把握することができなくなっています。そして、それは効果的なビジネス上の意思決定を行う能力にも影響を及ぼします。

IBM Rational<sup>®</sup> Insight パフォーマンス管理ソフトウェアは、プロジェクトとプロセスへの投資を戦略目標に沿ったものにするためのツールを提供します。リスク、状況、傾向を明確にし、それらのコントロールを可能にする Rational Insight は、パフォーマンスの正確な測定、モニター、分析と、必要に応じた是正措置の実行に役立ちます。

このソフトウェアには、企業各社によるソリューションの品質向上、ソフトウェアとシステムの開発およびデリバリーのコントロール改善、最終的にはタイム・ツー・マーケットの短縮に役立つベスト・プラクティスが用意されています。

### 実績データに基づく、十分な情報による意思決定

適切な管理は、正確で客観的な情報を得ることから始まります。プロジェクトの進捗と状況に関するタイムリーかつ適切な情報がないと、パフォーマンスが低下してビジネス目標を達成できなくなります。厳しい納期と予算の下で、利害関係者とデリバリー・チームは、「現在の傾向のどれがコストとスケジュールに影響する可能性を持っているか?」、「新しい欠陥の発生率は?」といった重要な質問や、デリバリー・プラットフォーム全体の機能の質問に対する迅速な回答を必要としています。開発ライフサイクルを明確に把握していない場合、これらの質問に正確に答えることは不可能ではないにしても容易ではありません。

Rational Insight では、単一の Web ベース・インターフェースを使用して、ベースライン、平均値、目標値など、プロジェクトとプロセスのパフォーマンスに関する正確な情報をリアルタイムで表示できます。この機能により、チームの全メンバーがいつでも現状を把握できるようになります。IBM Rational ClearQuest®、IBM Rational ClearCase®、IBM Rational Quality Manager ソフトウェアのほか、Microsoft® Project、XML データ・ソースといった他社のツールなど、異なるリポジトリに存在するリアルタイム・データの収集、測定、分析をアプリケーションが自動化し、データの品質と適時性を管理します。この自動化機能により、手作業によるエラーの影響や不完全な情報を使用して意思決定を行うリスクを最小限に止めることができます。さらに、Rational Insight には、グラフや図形による情報表示により、柔軟性のあるダッシュボードが用意されています。このダッシュボードを使って、状況を迅速に把握し、問題を特定し、ドリルダウンして根本原因を発見できます。

この重要な情報をいつでもすぐに入手できるようにすることで、是正措置を迅速に講じ、納期を遵守できなかった原因を評価し、現実により近いプロジェクト予測を立て、さらに多くの情報に基づいてビジネス上の意思決定を行うことができます。



図 1: Rational Insight は、実際のオンデマンド・データの測定と分析を自動化して、ソフトウェアとシステムの開発およびデリバリーを改善します。

### 役割別に最適化された情報

Rational Insight を使用することで、状況レポート作成の完了を待ったり、多くの人にアップデートを依頼したり、古い情報に基づいて作業したり、さまざまなデータベースや文書を掘り起こして調査したりして時間を無駄にすることがなくなります。

Rational Insight は、個人のニーズとの関連性が最も高い情報をパーソナライズされたひとつのビューに表示します。

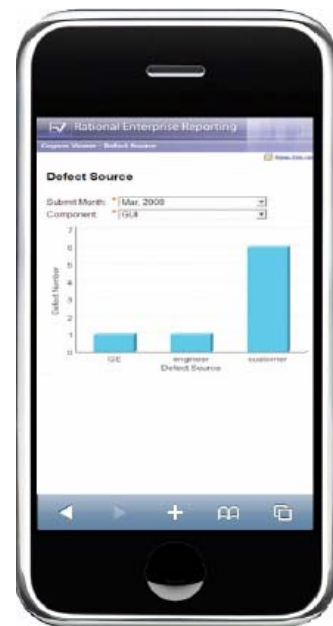


図 2: どこにいても、ステータス・インディケーターや電子メールによるアラートで常時情報を得ることができます。

エグゼクティブ、プロジェクト・マネージャー、プロセス・リーダーなど、役割は何であっても、それぞれのニーズに合わせて調整されて組み込まれた指標や測定基準が、プロジェクト状況の迅速な評価に役立ちます。パーソナライズされた測定基準により、サマリー・ビューでの分析や、さらに詳細な情報を生成できるドリルスルー機能が提供されます。**Rational Insight** は、ビジネス目標またはプロジェクト目標に照らした実績の評価と、ユーザーによるカスタマイズ設定を可能にします。さらにこのソフトウェアは、ほとんどのモバイル・デバイスに情報を直接配信するよう構成できるため、世界中のほぼすべての場所で必要なときにいつでも情報を受け取ったり取り出したりすることができます。

### プロジェクト、製品、地理的な境界を越えて

どのようなビジネスであれ、成功するためには製品やプロジェクトのデリバリーが重要になります。デリバリーは会社の財務実績に貢献し、今後の信用を築くのに役立ちます。ところが、進捗、プロセス、およびリスクを完全に把握していなければ、「盲点」によって優れた意思決定ができなくなったり、情報格差が生まれたりすることがあります。これは特に、プロジェクトや製品や地理的な境界を越える場合に顕著に現れます。企業は、目標に照らした実際の進捗状況の測定および分析、過去の履歴情報からの失敗の評価、自社プロジェクトの進捗モニターを行う能力を備えている必要があります。これらすべてが、企業が適切な意思決定をさらに迅速に行うために役立ちます。

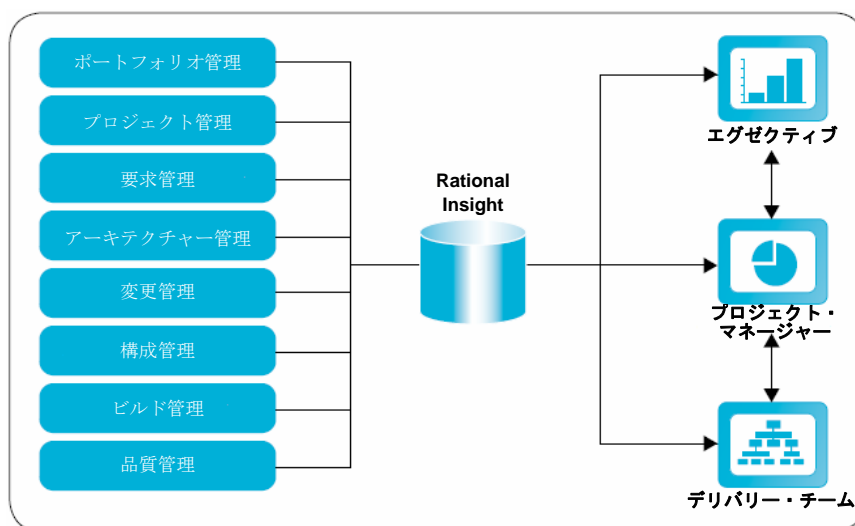


図 3: Rational Insight は、技術データを関連のあるタイムリーなビジネス情報に変換します。

**Rational Insight** を使用することで、状況をモニターするため、また、要件の変動性や安定性、欠陥の発生率など、企業の活動の主な側面に関する疑問に対応するために、プロジェクト、製品、地理的な状況などのさまざまなデータを迅速かつ簡単に明確にすることができます。プロジェクト、製品、地理的な状況などの隔たりを解消するために、以下を行うことも可能です。

- すべてのプロジェクトに関連するリアルタイム・データを使用して、状況をひとつのビューでモニターする
- 異なるリポジトリに存在する、複数のフォーマットを使用してダッシュボードを作成する
- 各自のニーズに合わせてダッシュボードを調整する
- リソースを管理してチームの生産性を向上させる
- プロジェクトの成果予測をさらに確実なものにする

### プロセスの継続的な改善

多くの場合、ソフトウェアとシステムのデリバリーに関するビジネス・プロセスの能力を合理化し、成熟させることが最優先事項になります。タイム・ツー・マーケットを短縮し、少ないリソースで大きな成果を上げることへのプレッシャーは、常に高まっているように見えます。しかし、測定していないものを改善することはできません。**IBM Rational Insight** では、これまでに学んだ教訓を確認するために履歴データを評価したり、品質とパフォーマンスの測定基準を利用したりすることができます。また、すぐに利用可能なダッシュボードや測定基準とともにベスト・プラクティスと管理技法のライブラリーを提供することで、プロジェクトが正しい方向に向かっていることを確認するのに役立ちます。



Rational Insight は、測定のためのベスト・プラクティス・ガイダンスを提供する IBM の Measured Capability Improvement Framework と密接に組み合わされています。このフレームワークは、改善のために測定が必要な適切な情報を確実に取得する場合に役立ちます。さらに、以下のことにも役立ちます。

- プロセスを改善するためのビジネス変革に向けて、測定に基づくアプローチを段階的に採用する
- ビジネスにとって最も重要なコア・プラクティスに重点を置く
- すぐに利用可能なアセットを使用してその採用をスピードアップさせる
- 能力の改善度をビジネス価値の観点から明らかにする

Measured Capability Improvement Framework とともに使用することで、Rational Insight は、ソフトウェアとシステムのデリバリーの測定、管理、および段階的改善に貢献します。

## 詳細情報

IBM Rational Insight ソフトウェアの詳細については、IBM 担当員または IBM のビジネス・パートナーにお問い合わせいただくか、以下をご覧ください。

[ibm.com/software/jp/rational/products/insight/](http://ibm.com/software/jp/rational/products/insight/)

© Copyright IBM Corporation 2009

お問い合わせは、IBM ビジネス・パートナー、製品販売店、弊社営業担当員またはダイヤル IBM (0120-04-1992) へ。受付時間：月～金 9:00～18:00 (祝日 12/30～1/3 を除く) 携帯電話でおかけのお客様は下記の電話番号でご利用ください。ダイヤル IBM 03-6220-8002 (この場合通話料金はお客様のご負担となります。)

日本アイ・ビー・エム株式会社  
〒103-8510  
東京都中央区日本橋箱崎町 19 番 21 号

Produced in Japan  
2010 年 11 月  
All Rights Reserved

IBM、IBM ロゴ、ibm.com、および Rational は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

Microsoft は Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本書に含まれる情報は、情報提供のみを目的に提供されています。本文書の情報の完全性および正確性については最善の努力を払いまいましたが、本文書の内容は法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負うことなく、現存するままの状態を提供されます。また、本文書は IBM の現在の製品プランまたは戦略に基づくものです。この製品プランまたは戦略は予告なく変更されることがあります。IBM は本文書およびその他関連文書の使用に起因するいかなる損害についても責任を負いません。本文書は、IBM (または IBM のサプライヤーまたはライセンサー) にいかなる保証責任を負わせるものではなく、また、IBM ソフトウェアの使用に際し適用される、プログラムのご使用条件の内容も変更するものではありません。

お客様は自己の責任で法規定を遵守しなければならないものとします。お客様のビジネスに影響を与える可能性がある関連法および法的要求事項の確認と解釈、並びにかかる法を遵守するためにお客様がとる必要のある措置に関して、弁護士の適切な助言を得ることはお客様のみにかかわる責任とさせていただきます。